

【教職員】

回答人数

116

回答率

99%

区分	評価項目
小学部	1-1 実態把握や集団活動、コミュニケーションの方法などを工夫する視点から授業づくりについて話し合うことで、確かな育ちにつながる実践を進めることができたか。
中学部	1-2 障害や個人の特性、生徒を取り巻く環境に配慮しながら、自己肯定感や自己有用感、それに基づく社会性を育てる指導や支援ができたか。
高等部	1-3 「仕事」「生活」「余暇」のつながりを意識した内容や自己理解を深めるための自己評価を取り入れた授業実践ができたか。
教務	2 「間違いやすい表記」を、以前よりも有効に活用することができたか。
総務	3 各部や他の校務部と連携をはかり、学校行事やPTA活動を円滑に計画、実施することができていたか。
メディア教育	4 ICT機器を効果的に活用した学習活動を計画、実施することができたか。
研究部	5 児童生徒の「育ち」をつなぐ授業を実践するために、部や学級で設定したテーマに基づいて授業研究や部現教に取り組み、指導や支援の充実に役立てることができたか。
人権同和	6 職員研修「性的少数者との意見交換会」の実施や、各学部の人権学習や保護者研修会などの内容について掲載した人権・同和教育だより「青空」を通して、人権について考えたり、新たな知識を得たりすることができたか。
生徒指導	7 警察など関係機関との連携や生徒会活動を通して、児童生徒が安全な生活や行動のために必要なルールやマナーについての理解を深めることができたか。
進路指導	8 「進路だより」や「進路ガイド」などで進路における情報等を知り、活用することができたか。
保健美化	9 児童生徒が安全に活動できるよう、救急法や救護訓練の研修を通して緊急時の役割や動きを確認したり、環境を整備したりすることができたか。
学びと育ちの相談センター	10 公開研修会や連携訪問事例検討会等を通して、学習障害や発達障害についての理解を深めるとともに、子どもの実態把握や指導・支援につながる知識を得ることができたか。
いじめ	11 いじめの早期発見、早期解決のために、適切な対応がとれているか。
SB	12 スクールバスは安全に運行されているか。
総 計	

